

甲 第 号

井上 和也 学位請求論文

審 査 要 旨

奈 良 県 立 医 科 大 学

論文審査の要旨及び担当者

報告番号	甲第号	氏名	井上和也
論文審査担当者	委員長	教授	國安 弘基
	委員	教授	桐田 忠昭
	委員	教授	長谷川 正俊
	(指導教員)		

主論文

Feasibility and efficacy of definitive radiotherapy with 66 Gy and concurrent carboplatin-paclitaxel chemotherapy for stage III non-small cell lung cancer

III期非小細胞肺癌に対するカルボプラチン・パクリタキセル同時併用66Gy放射線治療の安全性と有効性について

Kazuya Inoue, Shigeto Hontsu, Sachiko Miura, Isao Asakawa, Tetsuro

Tamamoto, Tadashi Yoshimine, Hiroshi Kimura, Masatoshi Hasegawa

Journal of Nara Medical Association

68巻1-2号

2017年4月発行予定

論文審査の要旨

III 期非小細胞肺癌は予後不良であり、手術適応とならない症例に対しては、化学療法と放射線照射の同時併用が標準的に施行されている。このとき、照射線量についてはこれまで用いられてきた 60Gy に対してより高い線量を照射する試みがなされているが、その効果と有害事象との評価は充分とは言えなかった。本研究では、66Gy 照射における治療効果とその際の有害事象について検討を行っている。

カルボプラチン・パクリタキセル同時投与併用の 66Gy 放射線照射を 3 次元治療計画に基づいて施行した 46 例の III 期非小細胞肺癌について検討を行った。その結果、IIIA 期・IIIB 期の 3 年および 5 年全生存率は 52.2% および 34.0% であり、同様のプロトコールで 60Gy 照射を施行した RTOG 研究の III 期生存率を上回った。一方、有害事象は Grade 2 以上の肺臓炎が 37.6% に見られ、うち 2 例は grade 5 であったが、照射前に線量体積ヒストグラム解析を施行することで軽減が可能と考えられた。

以上のように、カルボプラチン・パクリタキセル同時投与併用の 66Gy 放射線照射は III 期非小細胞肺癌非切除症例の予後改善に有用であることが示唆され、有害事象も線量体積ヒストグラム解析を用いることで許容範囲に抑制可能と考えられた。本研究により得られた知見は非小細胞肺癌の治療において非常に重要であると考えられる。

参 考 論 文

1. Feasibility and efficacy of definitive hypofractionated high-dose radiotherapy for cutaneous angiosarcoma of the scalp.

Emiko Shimoda, Kazuya Inoue, Nobuhide Wakai, Yoko Morimoto,
Isao Asakawa, Nobumasa Fujitani, Tadashi Yoshimine, Tetsuro Tamamoto,
Maiko Takeda, Kohei Ogawa, Hideo Asada, Masatoshi Hasegawa
Int. J. Cancer Clin. Res. 2(4):(online journal), 2015

2. メルケル細胞癌に対する術後放射線治療

井上 和也, 浅川 勇雄, 片山 絵美子, 梶谷 千香枝, 玉本 哲郎, 福本
隆也, 浅田 秀夫, 長谷川 正俊.
臨床放射線 59(7):996-1000, 2014

3. Efficacy of FDG-PET for defining gross tumor volume of head and neck cancer

Chikae Kajitani, Isao Asakawa, Fumiaki Uto, Emiko Katayama, Kazuya
Inoue, Tetsuro Tamamoto, Norihisa Shirone, Hideyuki Okamoto, Tadaaki
Kirita, Masatoshi Hasegawa
J. Radiat. Res. 54(4):671-678, 2013

以上、主論文に報告された研究成績は、参考論文とともに放射線治療学の進歩に寄与するところが大きいと認める。

平成 29 年 3 月 7 日

学位審査委員長

分子腫瘍病理学

教 授 國安 弘基

学位審査委員

口腔・顎顔面機能制御医学

教 授 桐田 忠昭

学位審査委員（指導教員）

総合病態放射線腫瘍学

教 授 長谷川 正俊